

合併に向けて1歩前進

薩摩東部地区合併協議会(法定協)が設置されました

4月18日、町農村環境改善センターホールで薩摩町、鶴田町、宮之城町の3町で組織される薩摩東部地区合併協議会が発足されました。

同日、これまで約半年にわたって3町間で合併について協議されていた薩摩東部地区任意合併協議会は解散されました。

薩摩東部地区合併協議会は、宮之城町の北村信之町長が会長に就任。今後3町合併に向けて合併の期日や新町の名称、新町建設計画、各種事業の調整など合併に必要な事項について協議されます。

当日、就任した北村会長は「この地区は温泉に恵まれた風光明媚な土地です。平成17年1月を目途に合併をしたいと考えています。町民から合併してよかったといわれるような新しい町づくりのために協議していきたい。」とあいさつされ、その後委員の紹介、同協議会設置までの経緯など2件の報告、同協議会会議運営規程など5件の議案が協議され承認されました。また事務事業一元化調整方針など3件が提案されました。これについては次回の協議会で協議されます。今後、同協議会は月1回の予定で開催されます。



▲3町長による固い握手



▲協議会委員に対して委嘱状が交付されました

薩摩東部地区合併協議会委員（本町関係のみ・敬称は省略）

町長 山口 昭 幸
助役 久木元 眞一郎
議長 上牟田 實
議員 新屋敷 浩
木下 賢 治

学識経験者 宮 脇 芳 忠（自治会関係）
山下 巖（農業関係）
山本 求 道（商工会関係）
上別府 ユ キ（女性団体関係）
赤 崎 一 幸（福祉関係）